

宮城県ハング・パラグライディング連盟 2020 総会

議事録

出席者

尾形理事長・小川副理事長・音羽・及川・近藤・菊池・猪内・鈴木(克)・鈴木(洋)・平間監事・事務局
代議員 8 名 (議長 佐々城れい子) }
委任状 2 通 } 有効 10 名 / 11 名中

議題

2019 活動報告・2020 活動計画について

●そらまつりの内容

決定事項 : 岩手県連・青森県連との合同そらまつりをできれば岩手で。2019 予算を繰り越し、倍の 200,000 円を予算化。

経緯 : 代議員からは、「毎年 100,000 円の予算で行っているものを、今年だけ倍は多いのでは」「キャンセルとなった分の事業費を翌年に繰り越すのはよくあることで問題ない」等の意見あり。

昨年は天候不良のためキャンセルとなったがこのままもうやらないということではなく、今年は岩手でできないか検討したい。予算については、宮城でやる分には会員の負担はそんなにないが岩手まで行くとなると大きいので何かのサポートをするためにも多いほうがいい等。なお理事会は、会員にうまく還元されるよう予算を使う方法を決めること。

●予算・決算

決定事項 : 予算案どおり。決算承認。

●その他

①昨年より東北電力と送電線事故の広報について協議しており、講習会にも来ていただいたところだが、今年はJHFレポートへの記事記載等ができないか電力本社広報がJHFと協議中。

②県連会員が減じていることに関し、今後事業縮小か、会費増額か話題にしたところ、JHFも事故増による保険利用の増から、このままでは会費増かもという話になっているとの情報。これには、保険内容や支払金額が一切不明なため、県連で関与できる事ではないが、とにかく安全第一で事故を減らそうという話に。

③安全教習委員会で記載する事故報告は国内重大事故ばかりで、県連内で起きた会員の参考になるような事故報告ができていない。今後はぜひ軽微な事故も安全教習委員会にご報告願いたい。

以上